

- ダム本体工事の着工に向け、生活環境等の保全の観点より、掘削工事に伴い発生する建設発生土の対策等について検討いただく「中部地方整備局岐阜県内建設発生土処理対策委員会」を3月29日に開催しました。
- 委員会では、ダムサイト及び骨材採取地においての岩質構成や物質特性及びリスク評価とその対策等について、次のように説明し、検討いただきました。
 - ・ダムサイトの珪質粘土岩及び瑞浪層群等にてヒ素、骨材採取地の鉍脈鉍染帯(砂岩)にふっ素・カドミウム・鉛が含有していることを確認した。
 - ・対策としては溶出防止対策(二重遮水シート)やモニタリングの実施を考えている。
- 委員会結果については、とりまとめ次第、HPで公表します。

建設発生土処理対策委員会 (3/29)



□主な内容

掘削予定地(ダムサイト及び骨材採取地)の土質状況
掘削土のリスク評価及び対策

□対策を要する要素(岩質、場所)と主な対策

要素・岩質：ヒ素(珪質粘土岩と瑞浪層群、ダムサイト右岸)
ふっ素・カドミウム・鉛(鉍脈鉍染帯、骨材採取地)
対策：二重遮水シート(ダムサイト右岸)、モニタリング

参考 土壌溶出量調査結果(掘削岩石を粉碎調整した試料による試験結果)

【ダムサイト】

泥質混在岩	ヒ素	3/17検体	0.011~0.018	(基準値0.01mg/L以下)
砂質混在岩	ヒ素	3/8検体	0.013~0.027	(")
安山岩	ヒ素	3/3検体	0.082~0.14	(")
珪質粘土岩	ヒ素	3/6検体	0.011~0.035	(")
瑞浪層群	ヒ素	7/10検体	0.015~0.043	(")

【骨材採取地(骨材利用除く)】

鉍脈鉍染帯	ふっ素	6/8検体	1.7 ~8.7	(基準値0.8 mg/L以下)
(砂岩)	カドミウム	1/8検体	0.015	(基準値0.01mg/L以下)
	鉛	3/8検体	0.015~0.13	(基準値0.01mg/L以下)

*その他の要素・岩質で基準超過はありませんでした。

要対策土の処置方法

